

CITP

認定情報技術者



「認定情報技術者」および「CITP」は情報処理学会の登録商標です。

CITPが対象としている範囲（赤枠内）

ITスキル標準	
レベル7	世界で通用するプレイヤー
レベル6	国内のハイエンドプレイヤー
レベル5	企業内のハイエンドプレイヤー
レベル4	高度な知識・技能
レベル3	応用的知識・技能
レベル2	基本的知識・技能
レベル1	最低限求められる基礎知識

情報処理技術者試験

高度試験（注）
（注）情報処理安全確保支援士試験を含む

応用情報

基本情報

ITパスポート

CITPには「個人認証」と「企業認定」があります。
企業認定とは、社内資格制度が所定の基準を満たしたことを情報処理学会が認定するものです。

ITスキル標準レベル4以上を目指す方へーCITPとはー

- 情報処理学会が認定する上級情報技術者の資格です
- ITスキル標準のレベル4以上を広くカバーする国内で唯一の高度資格です
- 情報処理国際連合のIP3の認定を受けた制度です
- 2千名を超える技術者が継続してCITP資格を保持しています（2023年3月末現在）

CITP取得5つのメリット

1. **情報技術のプロ**としての能力を客観的に証明できます
2. キャリアアップやスキルアップの**目標が明確**になります
3. **グローバルに通用する資格**の保持者としてアピールできます
4. コミュニティに参加し、**有資格者同士の交流**ができます
5. コミュニティ活動を通じて、**社会への貢献**が広がります



年2回（春、秋）申請を受け付けています。
2023年度第1回：2023/3/22 - 4/29
2023年度第2回：2023/9/14 - 10/20



問合せ
一般社団法人情報処理学会
CITP担当 ipsj.citp@ipsj.or.jp

CITP 認定情報技術者
Certified IT Professional

<https://www.ipsj.or.jp/citp.html>

CITPとは

「認定情報技術者制度（CITP制度）」は、日本企業の間にも広く普及しているITスキル標準（レベル：7段階）を参照モデルとした制度です。本制度はレベル4以上の上級技術者を対象としています。ITスキル標準で定められたスキル評価方法に基づき、所定のレベルに相当する能力を有すると判定された技術者を「認定情報技術者（CITP）」として認証し、情報処理学会が認定証を発行します。情報技術の分野は発展のスピードが特に速いため、情報技術者は常に新しい知識やスキルを習得する努力を求められ、最近の国際標準ではCPD（継続研鑽）を前提とした資格更新制度が必須とされるようになってきています。本資格は有効期間を3年としており、更新に際しては所定のCPD実績が条件となります。

CITP : Certified IT Professional
CPD : Continuing Professional Development

グローバルに通用する資格



CITP制度は、情報技術者を対象とする資格制度に関する国際標準であるISO/IEC 24773（ソフトウェア技術者認証）およびISO/IEC 17024（適合性評価：要員の認証を実施する機関に対する一般的要求事項）と整合性があり、IP3の認定を受けています。

※情報処理国際連合（IFIP : International Federation for Information Processing）の下に国際的な相互資格認証を司るIP3 : International Professional Practice Partnershipという組織があります。

認定を取得するためには

業務経歴書等の申請書類を情報処理学会に提出し、ITスキル標準で定められたスキル評価方法に基づいた審査を受けます。申請は、毎年春と秋の2回です。申請には、情報処理技術者試験（高度試験）に合格していることが必要です。

※申請時には審査料22,000円、合格時には登録料11,000円の納入が必要です（消費税10%込）。

CITPの意義

情報システムのベンダー企業やユーザー企業、政府・地方自治体等は、情報技術者の能力を評価するために、この資格を参照することができます。情報システムベンダーは、自社の人材の能力を客観的に証明する手段としてこの資格を活用できると同時に、社内で人材育成を進める際の目標として利用することができます。そして、より重要なことは、情報技術者自身がプロフェッショナルとしての自覚のもとに能力の維持向上（CPD）に努めることや、高い能力を活かして産業界や社会に対して一層の貢献を行うことです。これらの取り組みを支援するために、情報処理学会ではCITPによるプロフェッショナルコミュニティを構築し、技術者同士の交流を通じて自律的な質の向上を図る活動や、情報分野における教育・人材育成活動などを含む様々なプロフェッショナル貢献活動を進めています。CITPコミュニティについては、次のWebサイトをご覧ください。
<https://www.citp-forum.ipsj.or.jp/>

CITP認定者、企業認定制度の活用企業、制度運営に携わる人々の声

<https://www.ipsj.or.jp/column/lead.html>



社内資格制度の認定

多くの情報システムベンダー企業で運用されているITスキル標準をベースとした社内資格制度が、適正に実施され、社内資格の水準がCITPと同等であると判断される場合に、情報処理学会がその社内資格制度を認定し、社内資格を有する技術者にCITPの認定証を発行します。

※CITP制度では、個々の技術者の資格審査を情報処理学会が直接行う方式（直接方式）と、企業の社内資格制度を認定する方式（間接方式）があります。